

# 迎えて



津島市長  
日比 一昭

新年あけましておめでとう、ございます。市民の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、広島の大規模な土砂災害や御嶽山の噴火などの自然災害が発生した一方で、「和紙・日本の手漉和紙技術」がユネスコの無形文化遺産に登録され、リニア中央新幹線の着工が認可されるなど、明るい出来事がありました。

昨年4月の就任以来、津島市を活力にあふれ、「元氣」を実感できるまちにするため、「つしま成長戦略」を掲げ、市政運営に全力を尽くして取り組んでいます。

昨年3月に、「尾張津島天王祭の車楽舟行事」が、ユネスコ無形文化遺産登録の候補として文化庁より提案されました。これを絶好の機会と捉え、祭りや文化財などの歴史的・文化的な地域資源を活かしたまちづくりを進めてまいります。

津島市は、県が発表した南海トラフ巨大地震の被害想定では、震度6強の揺れが予想されており、多くの地域で液状化危険度が「極めて高い」とされています。市では、災害に強い「津島型住宅モデル」の提案や関係団体との連携を強化するなど、地域防災の強化に努め、防災・減災対策を一層推進してまいります。



津島市議会議長  
長尾 日出男

新年あけましておめでとう、ございます。皆様には、希望に満ちた新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日ごろより本市議会に對しまして温かいご支援、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。

「光陰矢の如し」といわれますように、月日が流れるのは本当に早いもので、津島市が誕生して68年が過ぎようとしています。さて、昨年の4月には日比新市長を迎え、新市長が掲げる「子ども・子育て応援都市」など5つの都市像を目標とする「つしま成長戦略」の実現に向けたまちづくりがスタートいたしました。限られた財源を最大限に生かした適時・適切な予算執行が行われるよう市当局との間で、しっかりと議論を尽くしてまいります。

国内の景気に目を向けますと、内閣府が昨年11月に発表した7月から9月期の国内総生産(GDP)速報値は、プラス予想もあった中で、4月の消



愛知県知事  
大村 秀章

あけましておめでとう、ございます。新たな年が、県民の皆様方にとりまして、素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、3月に「あいち・ビジョン2020」を策定し、リニア新時代を見据えた大都市圏づくりに向け、社会基盤の整備や産業振興、教育・人づくりなどに全力を注いでまいりました。また、「ESDユネスコ世界会議」、「技能五輪・アピリンピックあいち大会2014」の開催などを通じ、全国、世界に向け、愛知を大いに発信することができました。

今年も、ビジョンの着実な推進を図りながら、愛知の更なる飛躍を目指してまいります。

まず、世界に発信する「中京大都市圏」づくりです。2027年度のリニア開業による5千万人の大交流圏の実現をにらみ、名古屋駅のスーパーターミナル化や鉄道・高速道路ネットワーク、空港、港湾の強化を図ってまいります。

また、燃料電池自動車を始めとする自動車産業の高度化、航空宇宙産業やロボット、健康長寿など次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援などに力を入れ、産業競



愛知県議会議員  
中野 治美

新年あけましておめでとう、ございます。皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、ソチオリンピックが開催され、羽生選手の素晴らしい金メダル、浅田選手のフリー演技等は、多くの人々に感動を与えました。また、テニスの錦織選手の活躍も記憶に新しいところです。一方で、青色LEDの開発と実用化により、三人のノーベル物理学賞の受賞者が生まれました。こうした話題は、私たちに元氣を与え、若者に夢と希望をもたらしてくれました。

しかし、その一方で、豪雨による土砂災害や、御嶽山の噴火等があり、被災された皆様に関心からお見舞い申し上げます。私たちの地域は、近い将来、発生が予想される大規模地震による津波や液状化による被害が危惧され、その対策は急務であります。そのような中、海部津島地域の防災の要である日光川水閘門の改築が進められておりましたが、昨年十二月に、本体工事が完了しました。また、災害時の水防活動や復旧活動の拠点として整備

# を 春 新



昨年7月には、企業誘致推進のため、企業誘致専門組織を設置しました。地域経済を活性化するため、企業誘致のための支援策を講じるとともに、地元商店街の活力強化に努めてまいります。

また、人口減少が進行する中、「子どもが生まれる前から産み育てるまで」子育て世代を応援する事業の一つとして、小学校3年生まで子ども医療費を完全無料化にしました。今後も子ども達が健やかに育つ環境を充実してまいります。

さらに、市民病院は、地域の中核病院として質の高い医療を提供するとともに、より一層改革を進め、継続的な経営の健全化に努めてまいります。

すべての方がいつまでも健康で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、福祉・介護の充実、健康教育、子どもの基礎体力向上などに取り組んでまいります。

また、津島市のために皆様が考えたまちづくりの活動を応援する「つしままちづくり提案事業」により、津島市を元気にする事業が実施されています。まちづくりの主役は、市民の皆様一人ひとりで。市民の皆様と共に考え、行動し、元気なまちづくりを進めてまいりますので、今後も市政運営にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、市民の皆様にとりまして、健康で幸せな年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

平成二十七年元旦

費増税以来2期連続のマイナス成長の結果となりました。また、8割強の人が景気回復への実感がないと回答した世論調査の結果もあります。

こうした状況を背景に、11月、国において、「まち・ひと・しごと創生法」が成立しました。この法律が目指すところは、「出産や育児をしやすい環境づくり」と「地方での雇用創出」であり、ますので、実現にあたっては地方自治体にも、今後ますます大きな役割が求められてまいります。

このような中、わたしたちの任期は4カ月を残すのみとなりましたが、津島市の長い歴史と文化を大切にしながら、より豊かな、住みよいまちづくりを目指し、さらに創意工夫を重ね、皆様のご期待に応えられるように決意を新たにしております。

どうか本年も一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、今年一年の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。そして、新年のごあいさつといたします。

平成二十七年元旦

争力をより一層高めていくとともに、農林水産業のパワーアップを図り、「産業首都あいち」の実現を目指してまいります。

そして、こうした愛知を支える「人づくり」に全力で取り組み、子ども、若者、女性、高齢者、障害のある人など、すべての人が輝き、活躍する愛知づくりを進めてまいります。

さらに、国内外を代表するスポーツ大会の育成・招致に取り組みるとともに、今年を「あいち観光元年」と位置づけ、愛知の魅力を高め、積極的に発信してまいります。

こうした取り組みのほか、戦略的なグローバル展開、地震・津波対策などの安全・安心な地域づくり、「環境首都あいち」に向けた取り組み、地方分権・行財政改革、東三河県庁を核とした地域振興などにも力を注ぎ、愛知の総合力を一段と高めてまいります。

さて、今年、2005年の愛知万博から10周年です。秋には、愛・地球博記念公園をメイン会場に、「全国都市緑化あいちフェア」を開催します。花と緑にあふれた愛知の魅力を感じていただけるようしっかりと取り組み、万博の成果を継承・発信してまいります。と思います。

これらの取り組みを通じ、「日本一元気な愛知」の実現に向けて全力で取り組んでまいりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成二十七年元旦

を進めておりました日光川河川防災ステーションも、十二月に竣工いたしました。今後も、皆様の尊い命や財産を守り抜くという強い思いで、安心・安全な街づくりに向けて努力をしてまいります。

また、尾張津島天王祭の車楽舟行事が政府からユネスコ無形文化遺産の候補に提案されました。津島の誇る文化のシンボルの一つとして位置付け、地域の活性化に取り組みでまいります。

地方創生を言われる現在、県や市の責任はこれまで以上に重くなっております。時代は加速度的に変化しております。その変化に柔軟に対応し、次世代の子どもたちのために、魅力ある愛知・津島を皆様とともにつくってまいります。一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして健康で幸せな年でありますよう、心よりお祈り申し上げます。

平成二十七年元旦

